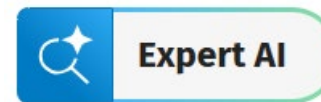
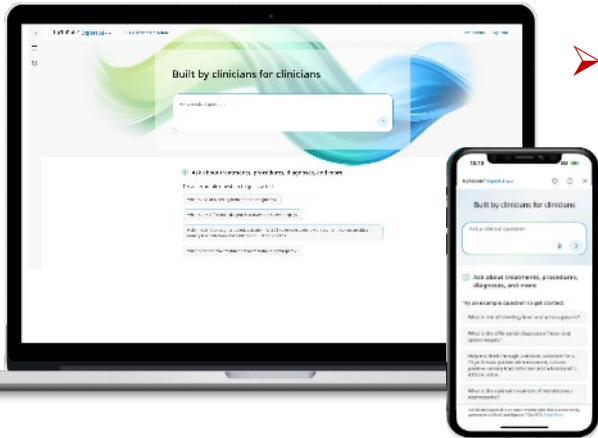




【医療向け生成AI】UpToDate Expert AI 活用ガイド



Ver.2026/3/18



➤ 臨床情報サービスUpToDateのコンテンツをベースとする生成AI『**UpToDate Expert AI**』の提供が、貴施設の皆様向けに始まりました。

➤ 他の汎用・医療向け生成AIに比べて、高い信頼性や中立性を有する特徴があります。この活用ガイドをご一読のうえ、臨床支援の参考資料としてご活用ください。

■ 本活用ガイドの内容

[Step.1] アカウントの登録

[Step.2] UpToDate Expert AIへのアクセス方法

[Step.3] プロンプト(指示文)の例

[Step.4] フィードバックのお願い・サポート連絡先

■ UpToDate Expert AIの特徴

1. 信頼性の高い強力な臨床推論、レビュー済みUpToDateの記事を参照
2. 誤回答(ハルシネーション)を抑えた一貫性のある回答
3. 回答内容の参考文献リンクから、出典となるUpToDate記事閲覧可能
4. AI翻訳による日本語出力(参考和訳)
5. 広告・スポンサーに非依存・中立、利用者・入力データの外部販売なし

■ 注意事項

得られたフィードバックは継続的な開発支援に活用いたします。
診断・医療処置・病状管理・診療現場の意思決定支援・医学的判断等の補助または代替を目的としていません。

[Step.1] アカウントの登録

UpToDate Expert AIを利用するには、施設契約中のUpToDateから、アカウントを登録する必要があります。すでにアカウントをお持ちの方は、[Step.2]にお進みください。

- ① 施設内ネットワークに接続した端末から、UpToDate(下記の接続先URL)に接続します。

【注記】画面の右上に **登録** ボタンが表示されているかご確認ください。
登録 ボタンが表示されていない場合は、施設内ネットワークから接続していません。お使いの端末のネットワークをご確認ください。

- ② **登録** ボタンをクリックして、アカウント登録に進みます。

接続先URL :

<https://www.uptodate.com/login>

アカウントの登録画面

【注記】翌日以降に追加項目を入力

- 新規登録のアカウント登録の際、最低限の情報入力にてアカウントの作成が行えるようになりました。
- それ以外の情報に関しては、2回目以降のログインの際にご入力いただきます ([Ask Again Tomorrow](#) ボタンで延期も可能です) 。

補記1 電子メール(Email)の登録のために、確認コード(Verification Code)が送付されます。

英文メールで配信されます。差出元は noreply@uptodate.com です。

補記2 Username(ID)は、好きな文字列で登録できます。電子メール・アドレスと同一でも構いません。登録後に変更もできます。

補記3 パスワード(Password)作成ルールは、「大文字を1文字以上使う」「数字あるいは記号を1個以上使う」です。

【注記】アカウントの有効期限

90日(約3カ月)に一度、再認証が必要

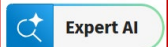
- アカウントを登録すると、施設内ネットワークに限らず、施設外(ご自宅や出張先、スマートフォンのキャリア回線)からUpToDateにログイン(Sign in)したり、スマホ・アプリを使用できます。
- アカウントの有効期限は、施設内ネットワークからUpToDateに最後にログインした日から90日間(約3カ月間)です。
- 所属確認のために、施設内ネットワークから90日間(約3カ月間)一度もログインがないと、アカウントは休止状態となり、施設外ネットワークからログイン(Sign in)できません。
- 【再認証】休止状態のアカウントは、施設内ネットワークや電子カルテ端末から改めてログイン(Sign in)すると、有効期限が再び90日間(約3カ月間)延長されます。

[Step.2] UpToDate Expert AIへのアクセス方法と使い方

- ① 施設内ネットワークから作成・再認証したアカウントでUpToDateにログイン(Sign in)します。利用は施設内・施設外を問いません。

接続先URL :

<https://www.uptodate.com/login>

- ② 検索窓に表示されるボタン  をクリックします。生成AIモードの検索画面に遷移し、利用規約(License Agreement)や免責事項(Disclaimer)に同意します。



UpToDate®

ヘルプ アカウント登録名 CME 214.0 ログアウト

UpToDate®

UpToDateを検索する 通常の検索ボタン

履歴 | 最も閲覧したトピック | ブックマーク

UpToDate content is protected by copyright and owned and/or licensed by UpToDate, Inc. By accessing or using UpToDate content, you accept the terms and conditions of the [UpToDate Terms of Use](#), which prohibit the use, training, inputting or processing of UpToDate content by or into automated software or tools, but not limited to, artificial intelligence solutions, algorithms, machine learning, and/or large language models.

診療変更に関する最新情報 [View All](#)

INFECTIONIOUS DISEASES: Single-dose human papillomavirus vaccine schedule (December 2025, Modified February 2026)

PULMONARY AND CRITICAL CARE MEDICINE: Nerandomilast for treatment of progressive pulmonary fibrosis (January 2026)

薬物相互作用

患者向け情報

計算ツール

Welcome to UpToDate® Expert AI

Share Your Feedback

Your feedback is essential to shaping the future of UpToDate Expert AI. You can rate each response with a thumbs up or down, and share detailed feedback using the feedback form. Whether it's a missed nuance or a suggestion for improvement, your input helps us refine the experience and ensure clinical relevance.

Disclaimer

UpToDate Expert AI is an experimental pilot that is powered by generative artificial intelligence ("GenAI"). UpToDate Expert AI is for use by clinician end users only (and may not be used by patients). UpToDate is making UpToDate Expert AI available to you solely for your internal evaluation and to obtain your feedback, which may be used to support its ongoing development. UpToDate Expert AI may not be used in the context of patient care, for any clinical, medical, diagnostic or therapeutic purposes, including in live clinical settings, to diagnose, to provide medical treatment, to manage medical conditions, to assist in point-of-care decision-making, or to support or substitute professional medical judgment and advice. Certain content in UpToDate Expert AI, including any output responsive to input(s), has been generated by GenAI, has not been reviewed by a human, and may contain errors and/or hallucinations. UpToDate Expert AI is not intended for use with personal data (information related to an identified or identifiable individual) and is not designed to protect such information.

License Agreement

In order to access and use UpToDate AI, please review and agree to our [End User License Agreement](#).

Cancel Agree



検索履歴 Open UpToDate 通常の検索に戻るリンク View CME

UpToDate® Expert AI

By clinicians, for clinicians.

Ask a medical question...

プロンプト(指示文)を入力する

Concise

Do not input any personal data, including PHI.

Examples

When to hospitalize a patient with pneumonia? How to diagnose and treat cellulitis vs DVT? What are the indications for cardiac catheterization?

What is the treatment for acute coronary syndrome? What is the treatment for acute pancreatitis? How to manage severe hyperkalemia in the ED?

③ UpToDate Expert AIの検索画面

- 検索ボックスに自然言語で臨床質問を入力します。日本語も入力できます。
- 日本語でご入力いただいた場合、回答は日本語でご提示いたします。(UpToDateの公式翻訳ではありません)
- プロンプト(指示文)は、最大10,000文字まで入力できます。
- 回答に対して、画面の下部の検索窓から追加の質問をしたり、「Learn More」(さらに詳しく)から、掘り下げた回答・知見を得られます。
- 回答の参考文献をクリックすると、UpToDateのレビュー記事を閲覧できます。
- 画面の左側に、検索履歴が表示されます。

[Step.3] プロンプト(指示文)の例

① 臨床推論・鑑別診断

臨床所見や検査結果を提示し、考えられる鑑別診断を提案

【例】「高用量ステロイドを投与中の60歳男性が、胸部CTで肺腫瘍を認める。鑑別診断は？」

② 治療方針の確認・比較検討

患者背景を踏まえ、推奨される治療法を確認したり、選択肢を比較評価

【例】「65歳女性が、COVID-19と肺アスペルギルス症の重感染でICUに入室。治療方針は？」

③ 臨床ケースの評価

治療過程や臨床所見から、治療方針の妥当性や次のステップを相談

【例】「免疫チェックポイント阻害薬を投与中の肺がん患者に、間質性肺炎が出現。治療継続か分子標的薬への切り替えの判断のポイントは？」

④ 医薬品の適正使用・安全性確認

患者背景を考慮し、副作用・相互作用などを評価

【例】「慢性腎不全患者におけるACE阻害薬の使用は安全か？」

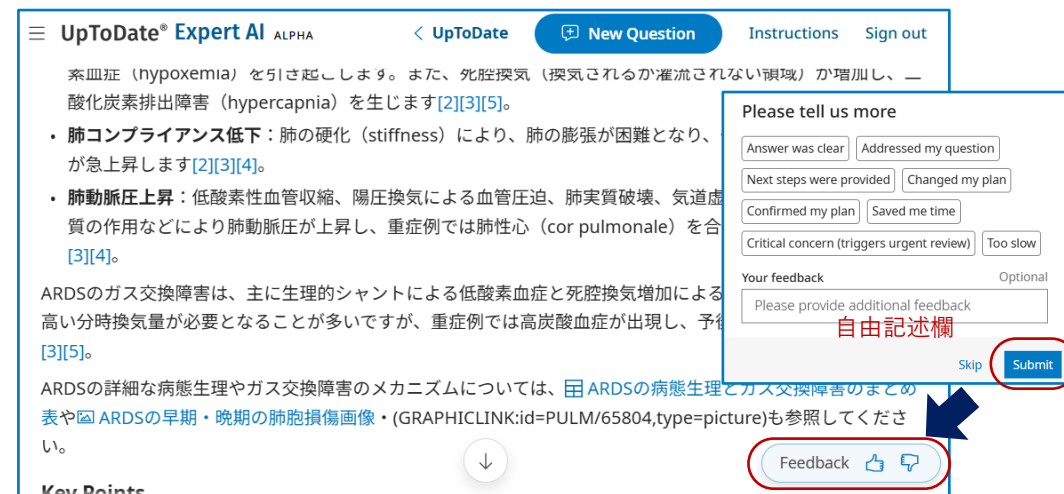
⑤ 医学的エビデンス・知識の確認

疾患や治療法に関する病態生理や疫学など、基礎の知見・事実を入手

【例】「抗菌ARDSにおける病態生理とガス交換障害のメカニズムは？」

[Step.4] ご任意:フィードバックのお願い

- UpToDate Expert AIの回答に対する評価を、よろしければ画面下部のボタン  から、フィードバックしてください。
- 良い(; Like answer)あるいは 悪い(; Dislike Answer)を選択し、その理由を教えてください。



■ サポート連絡先 ■

(株)ウォルターズ・クルワー・ジャパン / UpToDate日本事務所

メール: CEJapan@wolterskluwer.com

電話: 03-5427-1930 (平日・午前9時～午後5時)

Expert AIの回答の構成例

UpToDate® Expert AI ALPHA

[Go to UpToDate](#)

←通常の検索に戻るリンク

New Question

Instructions

Sign out

次の症例に対する鑑別診断を提示してください。

患者プロフィール

72歳男性

主訴：突然の胸痛（30分前発症）、冷汗、呼吸困難

既往歴：高血圧、脂質異常症、喫煙歴あり

Show thinking (113 steps)

←回答を生成するために参照した記事リスト

Generated Response

臨床ケースの回答に対する留意事項→

回答の前提となる条件・情報を提示→

鑑別診断を
表形式で提示→

Table: 鑑別診断一覧

疾患名	主な特徴	突然の胸痛	冷汗	呼吸困難	低血圧	SpO ₂ 低下	ST上昇	トロポニン/CK-MB上昇	確定/除外のための検査
最も考えやすい・頻度の高い疾患									
下壁ST上昇型心筋梗塞 (STEMI)	II,III,aVFでST上昇、典型的な虚血症状、リスク因子あり	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	心電図、心筋酵素、冠動脈造影 [1][2][3][4]
右室梗塞合併下壁STEMI	下壁STEMIに加え、右室梗塞で低血圧・ショック・SpO ₂ 低下	✓	✓	✓	✓	✓	✓ (右側誘導)	✓	右側誘導心電図、心エコー [5][6][7][8]
見逃してはならない重篤疾患									
突然の激痛、ショック、脳・四肢虚									

診断を確定したり除外するために必要な検査等↓

回答内容に対するフィードバック・ボタン→

Feedback

次の症例に対する鑑別診断を提示してください。

患者プロフィール

72歳男性

主訴：突然の胸痛（30分前発症）、冷汗、呼吸困難

既往歴：高血圧、脂質異常症、喫煙歴あり

現症

SpO₂：90%（室内）

呼吸数：22回/分

胸部聴診：両側呼吸音減弱、粗いう音

胸部X線：両側すりガラス影あり

血液検査：CRP 高値、白血球数 高値、軽度のAST/ALT上昇あり

薬剤性心筋障害	抗がん剤などの既往	時に	時に	時に	時に	時に	時に	時に	✓	既往歴、心エコー [19][26]
---------	-----------	----	----	----	----	----	----	----	---	-------------------

初期評価のポイント

- 緊急度の高い疾患（STEMI、右室梗塞、大動脈解離、肺塞栓、心タンポナーデ）は迅速な除外・確定が重要です。
- 心電図でII,III,aVFのST上昇は下壁STEMIを強く示唆しますが、右側誘導（V4Rなど）でのST上昇があれば右室梗塞合併を疑います。 [7][8]
- 心エコーは心機能評価、合併症（心タンポナーデ、機械的合併症、右室梗塞）の評価に有用です。
- 造影CTは大動脈解離や肺塞栓の除外に有用です。
- トロポニン・CK-MB上昇は心筋障害を示しますが、心筋炎や肺塞栓、重症感染症などでも上昇しうするため、臨床経過・画像所見と合わせて判断します。 [17][18][26]

Key Points

- 本症例は**下壁STEMI（右室梗塞合併含む）**が最も疑われますが、大動脈解離、急性肺塞栓、心タンポナーデ、心筋炎、急性心膜炎などの緊急疾患も必ず除外してください。
- ショックバイタルや呼吸困難、低酸素血症を伴う場合は、右室梗塞や合併症、他の致死性疾患の合併を強く疑い、迅速な診断・治療が必要です。
- 初期対応として、心電図、心エコー、造影CT、血液検査（心筋酵素、Dダイマー、感染マーカー等）を速やかに実施し、必要に応じて循環器・心臓血管外科・救急科と連携してください。

Learn More

Would you like to learn more about:

- 右室梗塞の診断と治療
- 大動脈解離や肺塞栓の除外方法
- 心筋炎や心膜炎の鑑別ポイント
- 心原性ショックや機械的合併症の評価
- 初期治療アルゴリズム

他に考慮すべき患者背景や追加情報があればお知らせください。

UpToDate® Sources

1. Diagnosis of acute myocardial infarction > CLINICAL MANIFESTATIONS > ECG > ST elevation

2. Diagnosis of acute myocardial infarction > CLINICAL MANIFESTATIONS > History and physical

Continue conversation...

回答内容に関する参考文献。クリックすると、UpToDate記事を閲覧できる。

追加でプロンプト(指示文)を入力して、さらに掘り下げた回答・知見を得る

confidential - do not distribute

5

UpToDate Expert AIの特徴・優位性 (他社比較)

	UpToDate Expert AI	他社サービス例
参照した文献範囲	◎ エビデンスの質・信頼性・最新性を確保した、レビュー・査読済みUpToDateコンテンツのみ参照して出力 ◎ 出力の参考文献としてUpToDateコンテンツを閲覧可能	➤ 提携する出版社のコンテンツを参照しているため、<u>文献範囲に偏りがある</u> ➤ 学習コンテンツの管理体制が未確立であるため、<u>エビデンスの質・信頼性・最新性が担保されていない</u>
編集体制	◎ 厳格な編集プロセスを実施する強固な編集・監督体制を整備 ◎ レビュー・査読済みコンテンツによってバイアス混入を徹底的に排除	➤ エビデンスの質・信頼性・適用範囲に関する編集プロセスが存在しない ➤ 外部の信頼性が低い未管理コンテンツによる<u>バイアス混入リスクが残る</u>
ビジネスモデル	◎ 購読料モデルを採用、広告やスポンサーに依存せず、バイアスのない情報を提供 ◎ プロンプト内容を含め、利用者から収集した機密性の高いデータのセキュリティを担保し、一切外部に販売しない	➤ 主な収益源は広告や外部スポンサー ➤ 利用者から収集したプロンプトを含む情報を、<u>製薬企業などの外部に販売する権利を保持</u>
出力の信頼性	◎ UpToDateの編集部所属の医師による最近の評価では、40件の臨床上の質問に対する他社サービスの出力は、14件に誤りを含むものであった。	